

## 平成 25 年度 第 195 回教育研究審議会議事要録

**日 時** 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 13:30~15:05  
**場 所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、井村事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、山本法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、木原国際教育交流センター長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

**配布資料**

- 1-1 教員採用選考報告書、欠員補充申請書 (外国語学部)
- 1-2 教員採用選考報告書 (法学部)
- 1-3 欠員補充申請書 (国際環境工学部)
- 2 特任教員の選考について
- 3 2014年度学部・学群・大学院学年暦 (案)
- 4 韓国海洋大学校との交換留学協定の締結について
- 5 フォート・ルイス大学への学生派遣留学協定の締結について
- 6 北方・ひびきの連携事業運営委員会報告書
- 7 大学祭 (青嵐祭・響嵐祭) について

### 第 1 号 教員の採用について

\* 資料1-1のとおり、外国語学部の翻訳教育、英米文学・文化担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (鮫島千明氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 英米学科は実践的なカリキュラムを擁するとあるが、文学・文化を専門分野とする鮫島氏に実践的科目である翻訳ゼミを担当させることができるのか。
- 翻訳ゼミは、複数の教員で担当している。また、鮫島氏は文学・文化だけでなく翻訳を含む幅広い分野を担当できるため、問題はないと考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

\* 資料1-1のとおり、外国語学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職するデニス・ジョーンズ教授の後任として、アメリカ研究分野担当教員1名の欠員補充について提案。

- 第192回教育研究審議会 (平成25年10月22日開催) で適任者なしと報告した欠員補充の再申請である。
- 欠員補充時期を平成26年10月1日に変更し、担当分野を広げ社会・経済領域も視野に入れた総合的な「アメリカ研究」とするほか、海外向けの周知方法を工夫するなどして、幅広く募集を行う。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

\* 資料1-2のとおり、法学部基礎法学分野担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (山口亮介氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 業績の中の博士中間論文は、博士前・後期課程一貫の課程における修士論文に該当すると認識しているが、別途、修士論文も業績としてあげられている。業績中の中間論文はどのような取扱いか。
- これまで法学部では博士中間論文も学位論文としてカウントしてきたため、業績としてあげている。
- 博士中間論文の扱いは、これまで曖昧であった。現在、教員資格選考調書等の在り方に関するガイドラインを検討中であり、博士中間論文の取扱いについても、検討課題として扱うこととする。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料1-3のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職する水野貞男教授の後任として、機械工学（生産システム）分野担当教員1名の欠員補充について提案。

- 第194回教育研究審議会（平成25年11月26日開催）で適格者なしと報告した欠員補充の再申請である。
- 欠員補充時期を平成26年10月1日に変更し、担当分野に工作法を加え、大学院科目については副指導も可とした。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

## 第2号 特任教員の選考について

\* 資料2のとおり、マネジメント研究科のみなし専任教員3名と特任教員11名の選考について提案。

- みなし専任教員3名は、高度な実務能力を持つ者で、年間6単位以上の科目を担当し、かつ、教育課程の編成等組織の運営について責任を負う者として、法令の基準上、専任教員とみなすものである。また、更新する特任教員のうち、3名は任用期間が5年を超えることになるが、当該科目を担当できる人材がいいため、任用期間を1年延長するものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料2のとおり、国際教育交流センターの特任教員2名について提案。

- 2名とも更新である。学部の授業を担当するほか、1名は副専攻Global Education Programの授業担当や学生の履修・学習相談を行い、もう1名は留学生支援団体の設立を行う。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料2のとおり、グローバル人材育成推進室の特任教員2名について提案。

- 2名とも更新である。1名はグローバル人材育成推進事業に係るキャリア教育の科目を担当し、もう1名はデータ等の管理・分析を行う。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第3号 平成26年度学年暦について

\* 資料3のとおり、平成26年度の学年暦について提案。

- 例年、学位授与式は土曜日に行っていたが、授業回数を15回確保する必要や試験日程の関係等から平成26年度は3月26日（木）としている。また、大学祭に伴う休講日も11月1日（土）とし、振替によって授業回数を15回確保している。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第4号 韓国海洋大学校との学生交換留学協定の締結について

\* 資料4のとおり、韓国海洋大学校との学生交換留学協定の締結について提案。

- 韓国海洋大学校とは、今年3月25日に覚書を締結している。その後、平成26年秋からの学生交換留

学実施に向けた協議を行い、双方の受入体制等について調整が整ったため、学生交換留学協定を締結するものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 第5号 フォート・ルイス大学（アメリカ）への学生派遣留学協定の締結について

\* 資料5のとおり、フォート・ルイス大学（アメリカ）への学生派遣留学協定の締結について提案。

- フォート・ルイス大学（アメリカ）との間では、平成25年11月に学術交流協定を締結している。その後、派遣留学に向けた具体的協議を行い、フォート・ルイス大学側の受入体制等について調整が整ったため、学生派遣留学協定を締結するものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 報告

- ① 平成26年度における北方・ひびきの連携科目の実施方針について、資料6のとおり報告があった。
- ② 大学祭（青嵐祭・響嵐祭）の実施結果について、資料7のとおり報告があった。
- ③ 次回の審議会を1月14日（火）に開催する予定である旨、報告があった。